

第6回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり検討委員会会議録

■開催日時・場所・出席者

日 時:平成 29 年 2 月 23 日(木)午後2時 00 分から3時 09 分まで

場 所:鴨川市郷土資料館・文化財センター学習室

出席者:以下のとおり

【出席委員】

No.	氏 名	備 考
1	鈴木 健史	(一社)鴨川市観光協会 会長
2	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
3	福田 雄一郎	鴨川市商工会 青年部長
4	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
5	齋藤 哲二	鴨川シーワールド 副総支配人
6	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部 会長
7	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
8	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
9	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 学部長
10	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
11	橋詰 良子	地域おこし協力隊
12	吉田 良治	安房土木事務所 所長

【欠席委員】

No.	氏 名	備 考
1	藤巻 武仁	(一社)鴨川市観光協会 副会長
2	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
3	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
4	菅原 明善	(一社)鴨川市青年会議所 鴨川の未来育成委員会委員長
5	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
6	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長

【市行政関係者】

所 属 ・ 職	氏 名	備 考
鴨川市参事	岩田 知也	事務局
鴨川市観光課長	松井 寛徳	事務局
鴨川市観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市観光課新たな観光づくり係長	鈴木 勝亮	事務局
鴨川市観光課観光係長	廣部 保幸	事務局
鴨川市都市建設課長	野村 敏弘	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市企画政策課長補佐	大久保 孝雄	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市農水商工課長補佐	高橋 昭彦	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市スポーツ振興課長補佐	鈴木 圭一郎	海辺のまちづくりプロジェクトチーム
鴨川市環境課美しい鴨川推進係長	佐々木 正信	海辺のまちづくりプロジェクトチーム

【鴨川市ＣＣＲＣ構想等策定支援業務委託事業者】

有限責任監査法人トーマツ

富田慎二、松矢明宏、柳橋雅彦、白石今日美 計４名

■配布資料

- ・次第
- ・席次表
- ・作業スケジュール
- ・資料１ 本日のアジェンダ・検討資料

- ・資料 2 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画
- ・資料 3 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する計画（案）にかかるパブリックコメント実施結果
- ・資料 4 第 2 回検討委員アンケート結果
- ・資料 5 ベンチャー企業との連携に向けたミニレクチャー

■会議要旨

1. 開会（午後 14 時 00 分）

2. 委員長あいさつ

渡辺委員長より開会のあいさつがなされた。

委員長から、本日の会議の議事録署名人として、齋藤委員及び立野委員が指名された。

3. 議事

(1) 計画書について

- 作業スケジュールの確認

受託事業者より、作業スケジュールに即して、作業が滞りなく進んでいる旨の報告がなされた。

- パブリックコメントの概要

受託事業者より資料 1、資料 2、資料 3 に即して説明。パブリックコメントにおいて寄せられた意見の概要や対応方針について説明がなされた。

- 計画書の確認

検討委員により、資料 2 について、内容およびパブリックコメントの反映状況について確認がなされた。

(2) 検討委員アンケートについて

- 受託事業者からの説明

資料 1、資料 4 に即してアンケートで寄せられた意見の概要について説明がなされた。

- 鴨川市による補足

アンケート結果を委員の名前が入った形で公表することについて説明がなされ、委員の了承を得た。

(3) ベンチャー企業との連携について

- ベンチャー企業との連携に向けたミニレクチャー

受託事業者から、資料 5 に即して以下の 3 点について説明がなされた。

1. ベンチャー企業とは何か

2. 地域で活躍するベンチャー企業

3. 鴨川市とベンチャー企業の良い関係

- 委員から出た意見・感想

検討委員より、北海道のニセコにおけるベンチャー企業の事例が紹介された。

(4) 今後の取り組み方針について

受託事業者より、資料 1 に即して、今後の事業の進め方及び来年度に実施する作業の説明がなされるとともに、検討委員の方々から引き続きの支援を頂けるよう依頼がなされた。

(5) 市長挨拶

市長挨拶の要旨は以下のとおり。

「6 回に渡って検討委員会を開催し、検討委員の皆さまからご意見を頂戴し参考になった。参加された皆さまに大変感謝している。

本事業の動機としては、内閣府まち・ひと・しごと創生本部における、総合戦略策定からスタートしている。日本にとって地方は大切な存在であり、町が力をつけるためには自ら考えよという命題が地域には与えられている。検討委員の皆さまをはじめ、市民の方から様々なご意見をいただいた中でできた計画案について、本日この場で承認していただいた。ヘルスケア市場を念頭に置き、アクティブなシニアをどう呼び込み、良質な日常の提供をどのように行っていくかという点が重要となる。

海岸線は市にとって大きな財産である。ウェルネスビーチをどう活性化するか、どのように人を呼んでくるかという仕組みが重要であり、今回できたコンセプトの発想をもとにして来年度以降どのように推進していくか、しっかりと考えていきたい。

今回の計画策定にあたり良かったことは、市民の皆さんを巻き込みながらいろいろな形で参画いただけたことである。市民の皆様の代表である検討委員の方々にこの場にお越しいただいていることがありがたい。この他に学生・生徒さん、ご意見をいただいた方々など様々な形でつながりが生まれたが、このネットワークは財産である。ネットワークを活用しながら事業を推進していけると良い。改めて御礼を申し上げたい。

受託事業者には当該事業を上手くまとめていただき感謝している。計画の計画で終わってはならないため、どう具現化していくかが我々の大きな使命である。」

4 閉会

午後 15 時 10 分

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成 29 年 3 月 1 日

齋 藤 哲 二

立 野 健 児